

様式第一(第一条の三、第十条、第十六条の六関係)

借地権申告書

令和6年 月 日

借地権者	住所	連名契約や共有名義で複数の権利者がいる場合は、全員の自筆署名及び本人確認書類が必要です。
	氏名	
借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、その設定者	住所	
	氏名	
土地所有者	住所	土地所有者においても自筆署名及び本人確認書類の提出が必要です。
	氏名	

該当しない場合は空欄としてください。

※土地所有者の署名や本人確認書類を頂けない場合は、借地権を有することを証する書面(契約書や地代の領収書など)を提出してください。
※借地権を証する書面を添付する場合は、土地所有者の欄は空欄としてください。

市川市長 田中 甲 殿

次表の土地について下記の借地権を有することを申告します。

年 月 日 登記簿登記事項			
所在及び地番	地 目	地 積	所有者の住所及び氏名
登記簿に記載されている内容をそのまま記入			

記

- 借地権の種類 **借地権(普通借地権、定期借地権等)**
- 借地権の内容
 - 目的となっている宅地の面積 **〇〇m²** ← (借地契約上の面積を記入)
 - 存続期間 **〇年〇月〇日から 〇年〇月〇日まで** ← (借地契約の契約期間を記入)
 - 地 代 **月額金〇〇円** ← (借地契約上の地代月額を記入)

備考

- 土地所有者(借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、その設定者及びその土地所有者)が連署せず、借地権を証する書面を添えて申告する場合

においては、「土地所有者」（借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、「借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、その設定者」及び「土地所有者」）欄は、記載しないこと。

- 2 土地所有者から借地権の設定を受けた場合にあつては、「借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、その設定者」欄は、記載しないこと。
- 3 法人の場合においては、「住所」欄にはその法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄にはその法人の名称を、「所有者の住所及び氏名」欄には土地所有者である法人の主たる事務所の所在地及び名称を記載すること。
- 4 施行地区となるべき区域内の特定仮換地に対応する従前の宅地に存する借地権を申告するときは、「所在及び地番」欄には当該借地権の存する宅地についての特定仮換地の番号及び特定仮換地が指定されている旨を、「地積」欄には当該借地権の存する宅地についての特定仮換地の地積を、「目的となつている宅地の面積」には仮に当該借地権の目的となつている特定仮換地の面積を付記すること。